

29大総号外  
平成29年7月28日

大鹿村リニア連絡協議会 大鹿村関係委員各位  
釜沢地区 関係者各位

大鹿村長 柳島 貞康  
(公印省略)

### リニア工事前の環境モニタリング調査結果の報告について

盛夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃よりリニア連絡調整にご協力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件についてJR東海において工事前の環境モニタリング調査が実施されておりますが、その結果をリニア連絡協議会及び地元住民の皆様と共有することとしています。今回、発生土仮置き場A（除山非常口横）の発生土搬入前の地下水質調査において、環境基準超過を確認したとの報告が別添のとおりありましたのでお知らせします。

この報告で基準値超過が検出された箇所は、現在のJR東海の作業状況が仮囲いの設置を完了したのみで発生土の運搬前であること、また、以前に大鹿発電所導水路トンネル工事の発生土を置いた場所ですが、当該発生土そのものについてJR東海が検査を行ったところ、検査結果は基準値以内であることから、自然由来のものが基準を上回って存在するものと思われま

す。当該箇所は釜沢集落の対岸に位置しており、飲用に地下水を利用している状況ではないことから、日常生活において影響のあるものではありません。調査結果について速報としてお知らせいたします。

※村では調査結果について、リニア連絡協議会委員及び釜沢自治会の皆様へ文書送付するほか、村ホームページ、ケーブルテレビ文字放送、8月に全戸配布するリニア情報で住民の皆様へお知らせする予定です。

大鹿村リニア連絡協議会事務局  
リニア対策室 岩間  
TEL : 39-2001  
FAX : 39-2269

長野県知事 様  
大鹿村長 様

平成 29 年 7 月 19 日  
東海旅客鉄道株式会社  
中央新幹線長野工事事務所（大鹿駐在）

## 発生土仮置き場 A 観測井での地下水質調査について

弊社が「大鹿村内発生土仮置き場における環境保全について（平成 28 年 10 月）」に基づき工事前におけるモニタリングとして実施した地下水質調査において、環境基準の超過を確認しましたので、報告致します。

### 1. 概要

#### (1) 基準値超過の検出された箇所

- ・発生土仮置き場 A 観測井 A-3（下記 2， 3 参照）

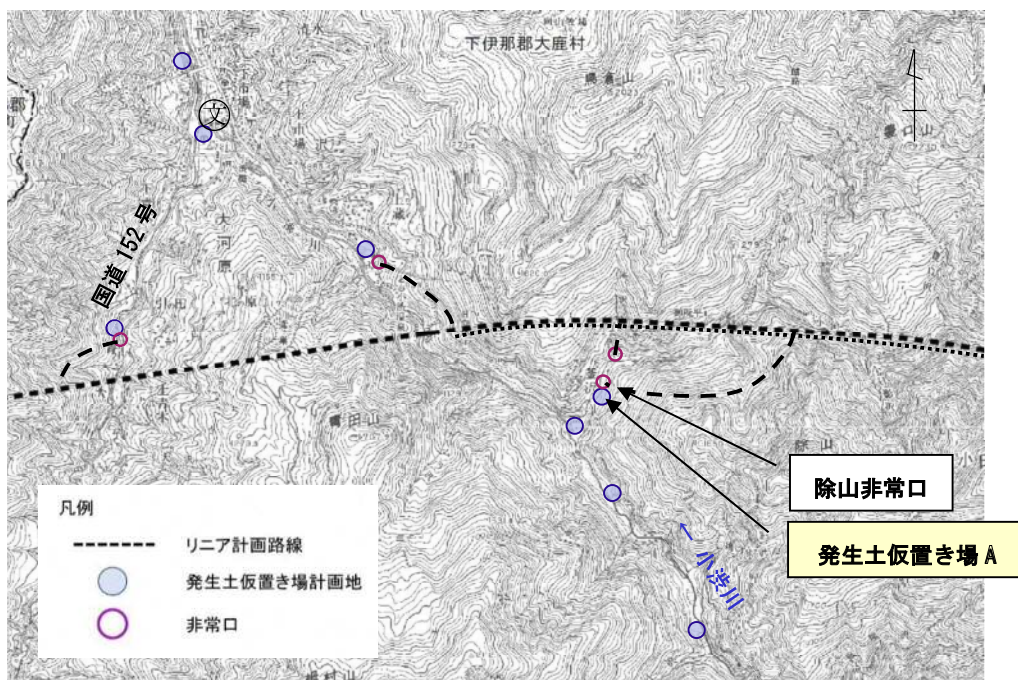
#### (2) 基準値を超過した物質

ア. ふっ素及びその化合物 1.4mg/L（基準値 0.8mg/L）

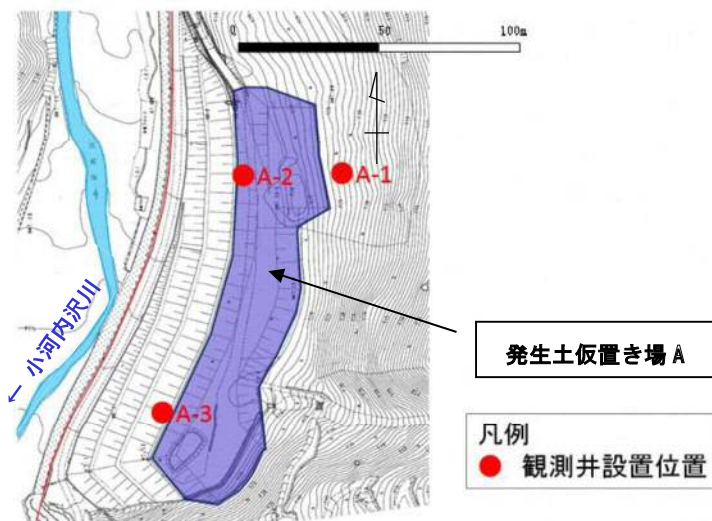
イ. ほう素及びその化合物 1.5mg/L（基準値 1.0mg/L）

調査結果の詳細は下記 4 のとおり

### 2. 位置図



### 3. 発生土仮置き場 A における観測井の設置位置



### 4. 調査結果

・ 調査項目の選定基準

「建設工事で発生する自然由来重金属等含有土対応ハンドブック（平成 27 年 3 月 独立行政法人土木研究所、一般財団法人土木研究センター地盤汚染対応技術検討委員会）」において、自然由来重金属等への対応として行う水環境に関わるモニタリング項目として「基本的に実施」となっている項目を選定した。このうち、重金属等濃度の調査対象物質は、土壌汚染対策法の特定有害物質のうち自然由来で土に含まれる可能性のある物質としたほか、本箇所においては、周辺に銅山が存在したことから、銅についても調査を行った。

・ 試料採取日 平成 29 年 7 月 18 日

・ 分析完了日 平成 29 年 7 月 19 日

調査項目	調査結果			単位	基準値
	A-1	A-2	A-3		
カドミウム及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	mg/L	0.01
六価クロム化合物	0.04 未満	0.04 未満	0.04 未満	mg/L	0.05
水銀	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	mg/L	0.0005
セレン及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	mg/L	0.01
鉛及びその化合物	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	mg/L	0.01
砒素及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001	mg/L	0.01
ふっ素及びその化合物	0.23	0.42	1.4	mg/L	0.8
ほう素及びその化合物	0.1	0.3	1.5	mg/L	1
銅及びその化合物	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	mg/L	—
水素イオン濃度(pH)	7.5	7.7	7.6	—	—
電気伝導度(EC)	46	51	70	mS/m	—

## 5. 付記事項

- ・ 当該箇所は、長野県大鹿発電所導水路トンネル工事で発生した発生土が置かれている場所ですが、発生土のボーリングコアについて重金属等に関する土壌溶出量試験を実施したところ、当該調査項目において基準値以内でした。
- ・ 弊社事業の発生土仮置き場 A における作業状況は仮囲いの設置が完了したのみで発生土の運搬前であるため、今回基準値を超過したものについては、自然由来のものと思われます。
- ・ 今後も引き続き、発生土仮置き場近傍の観測井や周辺河川のモニタリングを実施し、地下水の状況を確認しながら、発生土の仮置き場として使用する予定です。

以上

東海旅客鉄道株式会社  
中央新幹線長野工事事務所（大鹿駐在）  
（担当）天野  
電話：0265-39-2975